

様式1 【人】

ふくしまの森林文化調査カード

区分	1. 森づくり 4. 森と暮らし	2. 森の恵み 5. 森の文化財	3. 森と技 6. 森の風景
分野 (ふりがな)	(分野) 加工(桶作り)	(ふりがな) かこう(おけづくり)	
地域独特の呼び方			
氏名 (ふりがな)	遠藤 芳子	えんどう よしこ	
性別・年齢 生年	男・女 明治・大正・昭和・平成 14 年生		
住所・電話	〒968-0431 福島県いわき市遠野町		
職業	桶職人		
活動年数	約20年		
活動場所	いわき市遠野町		
活動内容	<p>昭和中期ごろまでは、水汲み用手桶から、漬物桶、洗濯盥、飼馬桶、おひつ、風呂桶など、多くの種類の桶があった。</p> <p>遠藤さんは、家業の桶屋を亡くなられたご主人の跡を継ぎ四代目として引き継いでいる。杉と竹だけで桶を作る女性職人として注文に応じて作るほか、「遠野町地域づくり振興協議会」や「磐城手業の会」での体験講座などを通じて、いわき地方に伝えられている手仕事への理解を深めるとともに暮らしと手業のかかわりを伝えることに取り組んでいる。</p>		
文化財等の指定状況	平成25年「森の名手・名人100人」 ((公社)国土緑化推進機構選定)		
問い合わせ先	電話		

【フリーフォーマット】※表面に記載に関連したことを自由に記入してください。

## キーワード

### いわき市遠野町地域づくり振興協議会

いわき市遠野地区には、和紙、竹細工、桶作り、鍛冶などの伝統技能が伝えられている。いわき市遠野町地域づくり振興協議会では、遠野町の農山村生活や伝統技能の体験プログラムを通じて、豊かな里山に息づく伝統技能を後世に伝えるとともに、まちづくりや地域の活性化に取り組んでいる。

### 桶と樽

桶は、手桶、風呂桶、鮎桶など、蓋が閉じられていない容器をいい、柾目板を使う。柾目板は木目が平行で均等に並んでおり、水分を吸収しやすい性質があるため、中身の出し入れが頻繁にある風呂桶や手桶などに使われる。

樽は、酒・醤油などを入れ、保存・運搬に使用される蓋が閉じられた容器で、側板に板目板を使う。板目板は木目が平行でなく山形、波形になっており、水分を吸収しにくく蒸発させにくい性質があるため、貯蔵用に適している。



ハンギリ(飯切(すし桶))を仕上げる遠藤さん



完成品

活動の様子が分かる資料等があればコピーをご恵与ください。